

全 員 協 議 会

日 時 平成 2 6 年 5 月 8 日 (木) 午後 1 時 ~
場 所 全員協議会室

1 開議

2 議員の定数・報酬について

3 その他

【 定 数 】

会派	意見
緑風会	定数減と増どちらの意見もある。
共産党議員団	定数は3常任委員会×8人+議長、監査委員の現行がシンプルでよい。過去に減数してきた。増数の意見もある。
清流会	定数は3常任委員会×7人+議長、監査委員の23人。常任委員7人となった場合は常任委員会機能の充実を検討するべき。
市民クラブ	定数は24人。監視機能の面では2～4人減っても支障はない。監視機能面では執行部の適切な説明、報告等仕組みを工夫し議員の資質向上を図れば対応できる。立法機能は定数に関係ない。ただし事務局の強化は必要である。基本条例の面では、定数減で議員の覚悟が見せられる。市民意見聴取では自治会、各種団体の活動が本市は活発なので（議員が接触することで）ニーズ把握ができる。人口、市域の面では、減数の幅をおさえ2～4人とした。
公明党議員団	定数は3常任委員会×7人+議長、監査委員の23人を下限にするべき。議員1人当たりの人口や市域から見て全国平均並みである。
亀岡創生会議	かつての法定定数30人から2割削減して24人の意見である。議会運営に支障はない。定数削減分を報酬増額にとの意見もあるが、議会提案政策経費やまちづくり補助金などに充てるのがよいと思う。

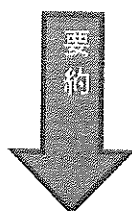


意見	根拠、説明等		会派
定 数 減	23人	3常任委員会×7人+議長、監査委員	清流会 公明党議員団
	24人	方法を考え、議員の資質向上で削減できる	市民クラブ
		法定定数30人から2割削減	亀岡創生会議
	-		緑風会
現 行 ど お り		過去に減数を行った	共産党議員団
定 数 増	-		緑風会
			共産党議員団

議会運営委員会まとめ

【 報 酬 】

会派	意見
緑風会	定数減の場合には報酬を増額すればよい。
共産党議員団	報酬は少ないと感じるが議員だけで検討するのはよくない。審議会に諮問するべき。
清流会	報酬は現状、又は定数削減の場合に増を検討。
市民クラブ	報酬は現行のとおりが適正の意見である。議員力を上げるため政務活動費増額も検討できればと思うが、今は時期尚早である。
公明党議員団	報酬は外部の意見を聞いて議論するべき。
亀岡創生会議	報酬審議会等で議論してもらうのがよい。



意見	根拠、説明等	会派
現 行 ど お り		清流会 市民クラブ
報 酬 増	定数減の場合報酬増額を検討する	緑風会 清流会
-	外部の意見を聞くべき	共産党議員団 公明党議員団 亀岡創生会議